

# ぶうげんびりあ9月

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園  
奄美市名瀬大字知名瀬2504  
TEL:54-8011 FAX:54-8012

No.1



2020年 9月号 No.255

<https://ainohamajiaikai-k.or.jp/>

8月25日は旧暦の7月7日、奄美では旧盆の前に七夕を飾る日です。軒先に飾った七夕飾りを目印にお盆の入りの日に空からご先祖様が降りてくるといわれています。グループホームの軒先にも利用者さんが余暇時間に作った色とりどりの飾りを 笹の葉に飾りました。今年の1月20日に他界された利用者さんが久し振りにホームを覗きにきてくれているのでしょうか。今年の七夕には『早くコロナウイルスが終息しますように』との願いを込めた短冊が多かったと思います。今年は利用者さんもお盆帰省自粛の為、いつもと違う夏を過しております。早く安心した普通の生活に戻って欲しいと思います。(副主任:福山)

## 9月行事予定表

- 1日(火): 害虫駆除
- 3日(木): 体重・血圧測定
- 15日(火): 健康相談
- 16日(水): 敬老会(記念写真)
- 17日(木): 避難訓練

## お誕生日



濱手 輝代さん 境 秀行さん 塩崎 幸子さん 橋田 忠治さん 田畑 栄さん 高 由香さん

## おめでとう

## あの花の名は...

### 施設入所 介護



「あの花なんち名前。綺麗ね。」この言葉がきっかけでした。休日、テレビ鑑賞をしていた隈元 利彦(くまもと としひこ)さんが、テレビに映っているヒマワリを観て発した言葉です。隈元さんは、ミラクル班に所属しており、園内の環境整備を主に行っています。活動前、私は先日の隈元さんの言葉を思い出し、6月18日、医務室前の花壇にヒマワリの種を蒔きました。隈元さんは、種蒔き直後から晴れの日も雨の日も(笑)、帽子をかぶり「早く花が咲かんかい。」と言いながら、毎日、自主的に水やりをしてくれました。あれから2ヶ月。隈元さんのおかげで、今では1mを超し、もうすぐ開花するまでに成長しました。今年は、梅雨明けが遅く、台風も数回きましたが、ヒマワリは負ける事無く、力強く成長しました。今、世の中は、新型コロナウイルスで大変ですが、私達愛の浜園では、利用者、職員一丸となって、ヒマワリのように強く、コロナに負けられないようにしなければならぬと思いました。隈元さん、毎日有難うございます。早く花が咲くといいですね。(記事:河村)



## 相談事業所(ていだ)

### 夢来夢来(むくむく)から夢が来た! ~この出会いに感謝~

先月、私たち相談支援事業所「ていだ」の地域のお客様のことで、とても嬉しい話がありましたので紹介します。森山京(もりやま みやこ)さんのお話です。私たち相談支援事業所「ていだ」が、京さんと出会ったのは、平成26年12月、京さんが大島養護学校3年生で、卒業後の進路を決めようとしている時でした。性格は明るく、笑顔が可愛い学生でした。将来の夢を聞くと「働いて給料をもらいたい。」「嵐の桜井翔君のお嫁さんになりたい。」とそんなことを話してくれたのを今でも覚えています。卒業後は「あしたば園」や「夢来夢来」の就労移行、就労Bで就労へ向けての支援を受け、社会人としての厳しさも経験し、悔し涙をすることもありました。時間を重ね経験を積むことが大切。言葉で理解できても、なかなか上手いれない。...当時はそういう思いだったと思います。それでも、京さんは、持ち前の明るさで、前を向いて、毎日、頑張りました。モニタリングで訪問する度に、少しずつ社会人としての思いがあり、逆に励ましてもらったり、元気づけてもらったりしました。自分の仕事(就労B)に誇りを持ち、卒業から6年。京さんに障がい者雇用のチャンスが巡ってきました。自信もあり、不安もたくさんあったと思います。それでもいつも通り、笑顔で働き、初給料(7万円以上)をもらいました。本人は言うに及ばずご家族もびっくり。私たちの事業所や、本人の頑張りとその頑張りを経験してくれた企業側、そして支えてくれたたくさんの人たちへ感謝の気持ちを電話で報告してくれ、更に、お礼の為に園にまで来てくれました。また一つ、大きな階段を登り素敵なお女性になったなど、あの学生時代を振り返り喜びもひとしおでした。これから障がい者雇用が定着するに当たり、色々な困難があるかもしれませんが、それでも、これまで通りの笑顔で前を向いて乗り越えてほしいと思います。障がい者雇用上、私たち相談支援事業所から離れることになっても、私たちは、いつまでも京さんの応援団です。「頑張れ!京さん!」(記事:辻原)



## ちょっといい話「おもてなし」

毎日の生活の中で、食べることは楽しみのひとつです。利用者さんも、「今日はオムライス!」などと献立のことを嬉しそうに話しています。ある日の朝食、献立は、ごはん、味噌汁、焼き魚にふりかけでした。いつも朝食は調理員さん一人で作っているので、「ひと手間もふた手間かかって大変ですね。」と声をかけると、笑って首を横に振り、「いつもなら小さい皿を使うけど、大きい皿に盛ったらちょっと豪華に見えるかなと思って。」と、はにかんで言いました。その心遣いがとても嬉しくなって、私はすぐにみんなに伝えました。まさしく「おもてなし」の心だと思いました。給食のみなさん、いつも心のこもったおいしい食事をありがとうございます。おいしそうに食べる皆さんの顔はなんとも言えません。いつもの生活の中で、心がほっこりしたとてもいい出来事でした。(記事:松原(充))



## 自家発電機講習会 利用者さんの安心・安全のために...



8月4日(火)に、毎月発電機のチェックを行ってくださっている藤岡電機さんをお招きして、自家発電機の講習会を行いました。奄美は台風の通り道になっており、例年8月から10月に掛けて多くの台風が通過します。その為の備えという事で、2基ある発電機の運用時の流れや使用する際の注意点など、細かく教えて頂きました。災害時に、利用者さんが安心、安全に暮らせるように、今後も色々な訓練や講習など取り組んでいきたいと思っております。(記事:名島)

## 陶芸教室 in 愛の浜園



8月8日(土)に陶芸教室がありました。今回の参加者は愛の浜園職員です。榮野先生(笑)より、1からわかりやすく手ほどきを受け、1人1人オリジナルティーあふれる世界に一つだけの一輪挿しを完成させました。



# 三賞受賞者

## <努力賞>

- ・松島 大志さん・・・苦手な野菜を自ら食べる事ができています。
- ・定原 たず子さん・・・久しぶりに車に乗り、住用まで落ち着いてドライブする事ができました。
- ・竹田 美喜子さん・・・挨拶をしないと落ち着かない利用者、嫌がる事なく、毎日挨拶を返してくれます。
- ・橋口 益男さん・・・短期入所の期間、頑張ってお越し事ができました。
- ・栄 徹さん・・・2週間入院生活を頑張り、元気に退院する事ができました。
- ・積 幸博さん・・・短期入所利用中ですが、愛の浜園で利用者と一緒に過ごしています。
- ・岩切 正さん・・・8月から始めた七夕飾りの作成を、楽しみながら取り組む事ができました。
- ・森山 義範さん・・・食堂の掃除を自主的に頑張って取り組んでいます。
- ・中田 茂代さん・・・居室の掃除を頑張りました。
- ・叶 絹代さん・・・活動に積極的に参加したり、食堂で終わりの挨拶まで座って待つ事ができています。
- ・藤島 亜由美さん・・・DVDやテレビのスイッチを自分でつける事ができるようになりました。
- ・定原 たず子さん、森 樹子さん、里 喜美子さん  
・・・心電図の検査を頑張って受ける事ができました。
- ・酒井 真希さん・・・結核検診を頑張って受ける事ができました。
- ・岩越 タツヨさん・・・洗濯物運びを頑張っています。

## <親切賞>

- ・生野 由子さん・・・友達が日中活動を頑張っている姿など友達の良いところを見つけて話してくれます。
- ・郁 一男さん・・・グループホーム内で移動の難しい利用者さんの移動と一緒にしてくれます。
- ・森山 真智代さん
  - ① 友達にたくさん声を掛けて、楽しい雰囲気してくれます。
  - ② 「あっちを先にしていよ」と友達の支援を優先して、待っています。
- ・岩越 タツヨさん・・・友達に優しく声を掛けてくれます。

## <奉仕賞>

- ・中江 公三さん・・・ストックヤードで手洗いや消毒などを取り組むように他の利用者に声を掛けてくれました。
- ・中江 公三さん、東條 和三さん  
・・・グループホームの周りを高圧洗浄機で綺麗に掃除をしてくれました。
- ・和田 勇登さん・・・自らすすんで食堂の掃除に取り組んでいます。
- ・徳 朋裕さん・・・夜のティータイム後、飲んだ後のコップ洗いを頑張っています。
- ・里 喜美子さん・・・泣いている友達の手を握り、慰めてくれました。
- ・濱手 輝代さん、森山 麻李亜さん  
・・・室内換気の放送が流れると、すすんで窓をあけてくれます。



8月の愛の浜園

工賃支給

音楽の日

日常のコマ